

商 工 会 報

# あ ち

第 54 号

発行 阿智村商工会  
43-2241

編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)



通常総会

## 4 大改革柱に連携深める

### ～ 地域経済活性化へ全力～

当会の第42回（平成14年度）通常総会は、去る5月23日に阿智村商工会館において、多くの来賓を迎えて盛大に開催され、平成13年度事業報告・収支決

算、平成14年度事業計画・収支予算など提出議案総て原案どおり承認可決されました。

平成十四年度は、四大改革を柱に、経営改善普及事業の充実、広域指導体制の構築など計八項目を重点事業として積極的に取り組んでいくことが確認されました。議事に続いて、永年勤続優良従業員他の表彰が行われ、五九名の皆さんが受賞されました。



挨拶する中山会長

### 永年勤続表彰者 四六名

本年度の永年勤続表彰は次の方々が受賞されました。

(敬称略・順不同)

#### 全国商工会連合会長表彰

☆勤続四十年

大沢 清孝 (春木屋本店)

☆勤続三十年

古田二三夫 (南信土木建築)

田中 陽一 (阿智生コン)

倉田 育人 (同)

岡庭 啓真 (同)

金指長太郎 (寺尾林産)

#### 長野県商工会連合会長表彰

☆勤続二十五年

実原ほのゑ (藤倉電気)

☆勤続二十年

桜井 雄幸 (中島工業)

☆勤続十五年

小林 芳一 (南信土木建築)

遠山 登 (同)

羽場崎慶逸 (同)

河合真知子 (阿智開発公社)

中山美恵子 (湯元ホテル阿智川)

伊藤 友信 (同)

竹村 典和 (小笠原鉄工)

☆勤続十年

渡部 琢夫 (南信土木建築)

高橋 吉子 (清風苑)

熊谷 三男 (阿智モーターサービス工場)

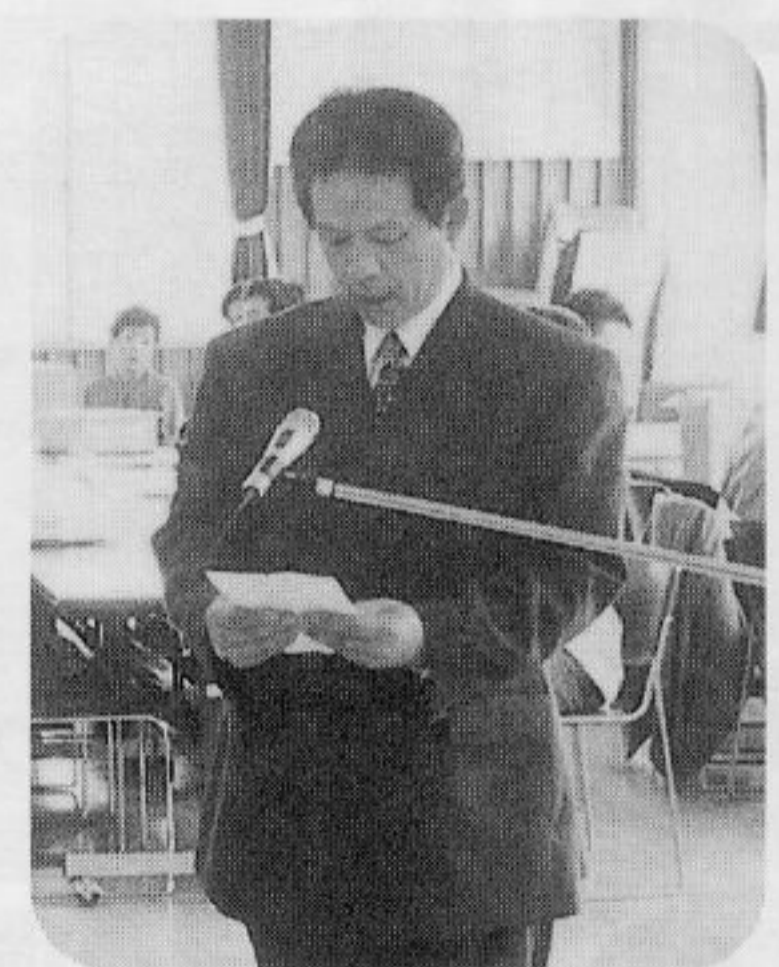
浦上 広信 (エイ・ティ・シー)

小林 義和 (同)

大竹 幸二 (同)

高田 栄蔵 (同)

受賞者を代表して謝辞を述べる  
岡庭 啓真さん



本多 滋子 (同)  
小林 正彦 (湯元ホテル阿智川)  
井原 千之 (阿智生コン)  
高橋 寿三 (林屋材木店)  
鈴木 訓子 (神明荘)  
小林 一夫 (小笠原鉄工)  
田中 啓司 (同)

(勤続五年表彰者の掲載は省略させていただきます)

### 中山会長特別賞に 岡本浩君受賞

青年部主張県大会で最優秀賞に輝いた岡本浩君は、県の代表として関東甲信越大会にも出場、阿智村の名を関東一円に広めた功績で受賞。

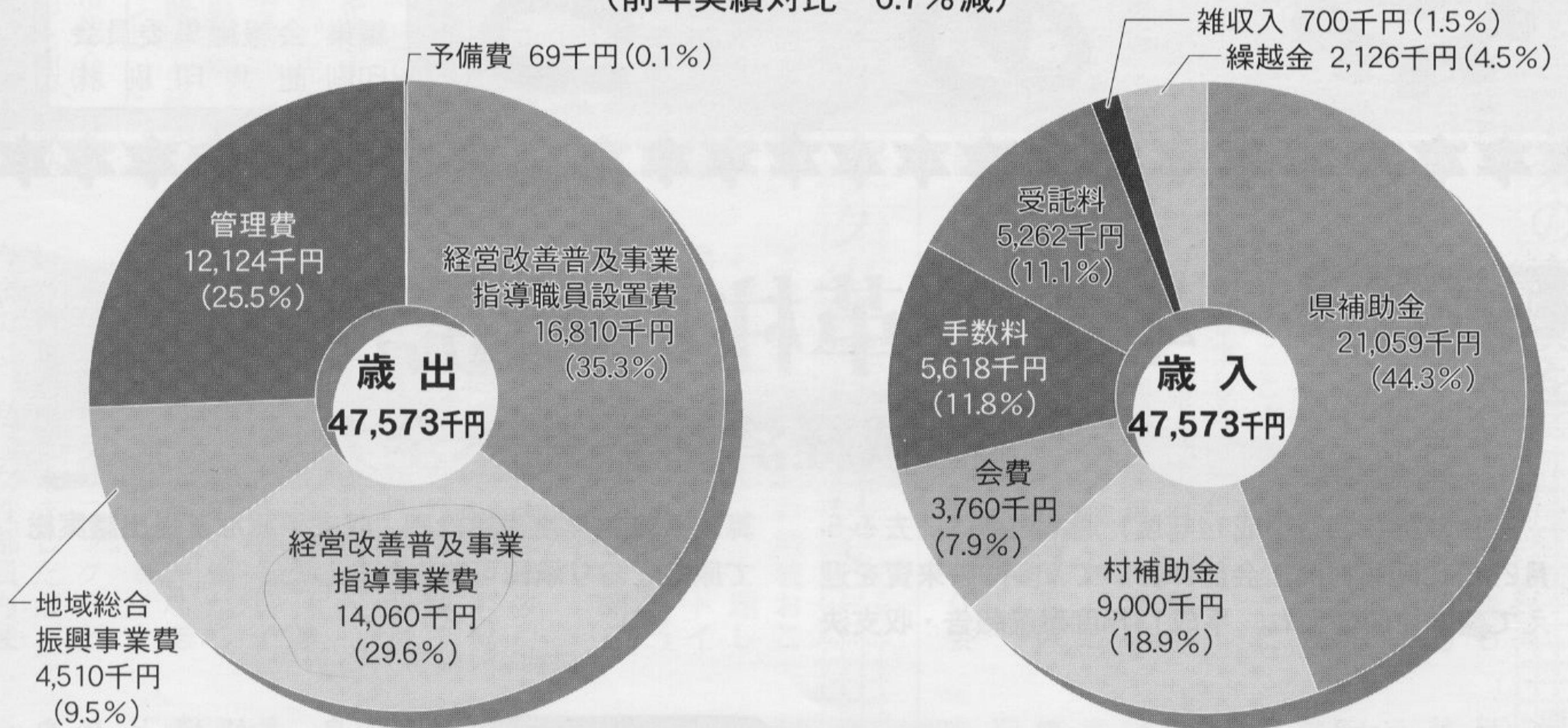


五月二十三日に行なわれた総会

# 平成14年度 予算概要

予算総額 47,573千円

(前年実績対比 6.7%減)



## 平成14年度 事業計画

### 重点項目

1. 経営改善普及事業の充実
2. 地域経済活性化事業の推進
3. 組織の強化と財政基盤の強化
4. 広域指導体制構築の推進
5. 「商工会 4大改革」に基づく事業の推進
6. 新会員の加入による組織率の向上
7. 商工貯蓄共済の普及推進
8. 不況対策事業の推進

### 具体的事業

1. 金融、税務、経理、経営、労務、取引等に関する相談及び指導
2. 小規模企業共済制度等に関する周知と相談及び指導 (事務代行含む)
3. 技術の改善等に関する相談及び指導
4. 地場産業の振興、商業活性化対策に関する事業の実施と協力
5. 各種講習会及び講演会の開催
6. 各種部会・部・委員会の指導と青年部・女性部の指導育成など
7. 経営及び技術に関する情報、資材の収集及び提供
8. 商工祭の実施
9. 各種共済の加入勧奨の実施
10. 会員親睦事業の実施
11. 従業員の健康診断の実施
12. 商工会報「あち」の発行
13. 中小企業経営改善資金の斡旋及び審査会の開催
14. 専門家による企業診断の実施

# お店に花を飾って下さい

## 阿智中学校二年三組

阿智中学校二年三組では、本年度の「総合的な学習」の中で、自分たちに出きることで、阿智村に役立つ活動をし

しよう」というスローガンの元、阿智村商業の活性化に、お役に立ちたいと計画しました。具体的には、消費者である生徒や親にアンケートをと

指導カルテ  
No.13

# プロジェクトX〜挑戦者たち

経営指導員 佐々木 信 高

NHKテレビの毎週火曜日午後九時十五分から十時まで「プロジェクトX〜挑戦者たち」という番組がある。かつて、この番組に長岳寺の山本慈昭さんが取り上げられたこともある。十代から七十代までの幅広い視聴者層で、平均視聴率十五%という高視聴率だそうだが、何がこれほどまでに人気を博しているのだろう。

戦後日本の発展を支えた数々のプロジェクトが放送された。画期的な新商品開発や巨大建設事業などの成功物語を取り上げて、この舞台裏で様々な障害を乗り越えて活躍した人々のドラマを描いている。

こういった内容が、サラリーマンや庶民の心をつかみ、年代を超えての高視聴率を支えているのだろう。更に、中島みゆきが歌うバックミュージックが人々の感動を倍増させているのも事実だ。

この番組の登場人物あるいは主演は、会社のトップやプロジェクトの長では無く無名の一社員、一市民が主人公であり、コツコツと任務を遂行していく地味な生き方にスポットを当てて日本人の物造りの発想や頑張る姿を伝えている。

この「プロジェクトX」は、主演は、会社のトップやプロジェクトの長では無く無名の一社員、一市民が主人公であり、コツコツと任務を遂行していき地味な生き方にスポットを当てて日本人の物造りの発想や頑張る姿を伝えている。

今だかつて無い不況の中でこの「プロジェクトX」は、企業にとって、多くのものを学ばせてくれる。創業。経営革新が叫ばれる中で、新たなチャレンジを迫られている二十一世紀の日本人に、挑戦と勇気を与えてくれる番組だ。

サブタイトルに「挑戦者たち」とあるように第二次大戦後の日本で画期的な事業を実現させたプロジェクトに熱い情熱と使命感で取り組んだ無名の日本人にスポットを当てた番組だ。

四十年代から五十代の人にとっては、自分の現状を重ね合わせて共感呼び、若年世代には、困難を克服してプロジェクトに挑戦していく先駆者の姿に「オヤジたちってスゴいな」と感動を与えた。

一つのプロジェクトが成功するかどうかは、無名の人々を大事にするかどうかにかかっている。企業でも人材を大事にする事を忘れないでほしい。

これまでに、黒四ダム、ロータリーエンジン、東京タワー、青函トンネル、トランジスタラジオ、YS11など、

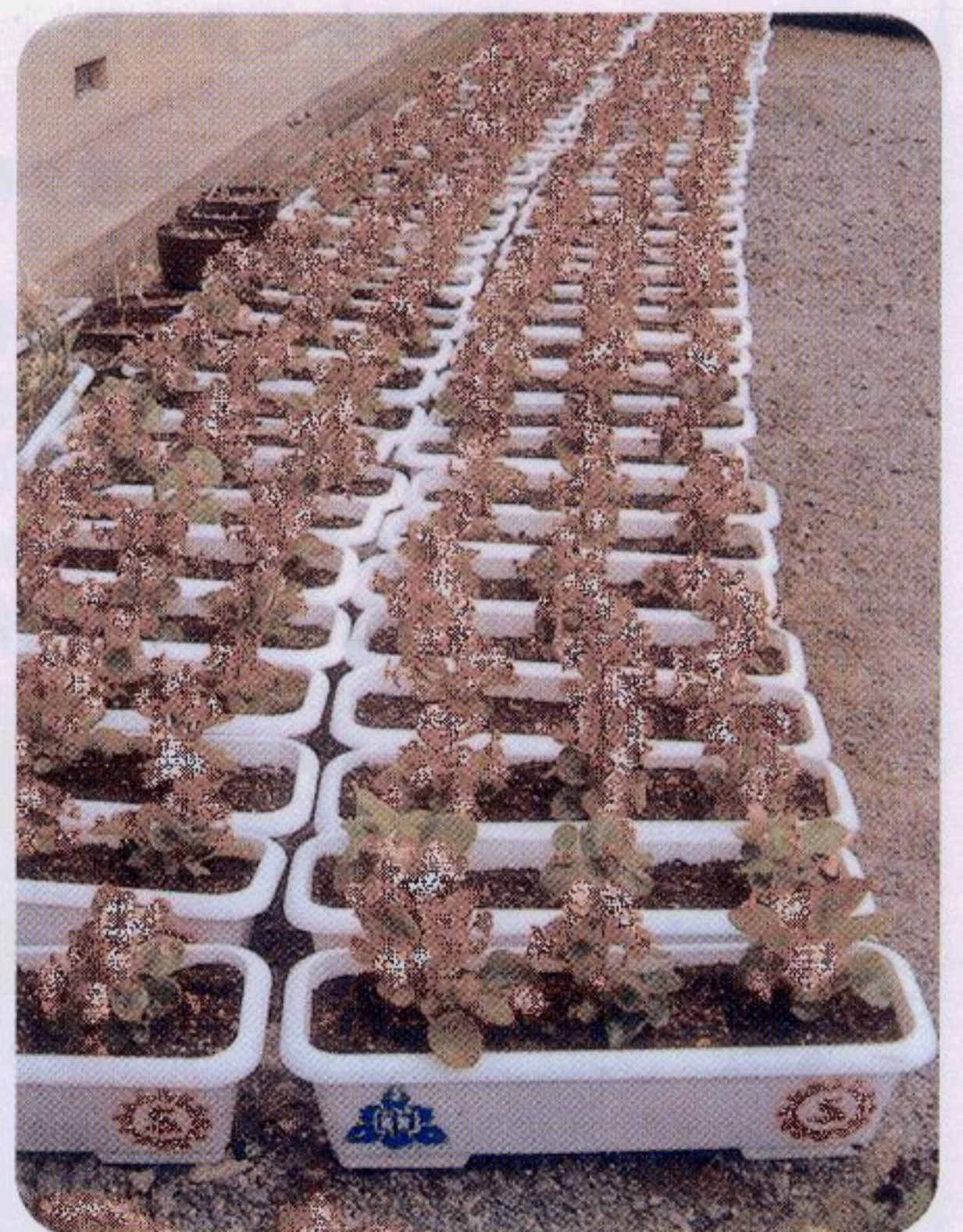
戦後日本の発展を支えた数々のプロジェクトが放送された。画期的な新商品開発や巨大建設事業などの成功物語を取り上げて、この舞台裏で様々な障害を乗り越えて活躍した人々のドラマを描いている。

今だかつて無い不況の中でこの「プロジェクトX」は、企業にとって、多くのものを学ばせてくれる。創業。経営革新が叫ばれる中で、新たなチャレンジを迫られている二十一世紀の日本人に、挑戦と勇気を与えてくれる番組だ。



植付作業に汗をながす生徒達

ここで生まれ、育っている生徒達が地域を学ぶという事は、ありがたいうことで、生徒たちの暖かい心を是非応援したいものです。



中学校・商工会のマーク付プランターにきれいに植えられた、ベコニアの苗

で、消費者思考を研究したり商業について、お店の方に話を聞いたりし、また、自らの手で花（ベコニア）を育ててお店に飾ってもらい、少しでもお店のお役に立ちたいと計画をしています。

業のことを学び、考えて、行動するという事は、子供たちの将来にとっても大変意義あることだと思います。特に、本年度は県教育委員会とテレビ信州が中心となつて、県内の中学校・高校から一〇クラスの中に選ばれて、日頃、テレビやラジオの受け手である生徒達が、逆に情報を発信する立場に立つて、事業を推進していくそうです。このことをメディア・リテラシーという。

### 職員の異動



#### 転出 英知と努力で不況突破を

経営指導員 佐々木 信 高

このたび、七月一日付で、長野県商工会連合会南信支所勤務となりました。昭和五十八年八月に経営指導員として着任以来十九年間、大変お世話様になり衷心より厚く御礼申し上げます。着任当時は、昼神温泉に旅館・ホ

たこと。阿智高等学校地域授業のこと。商工祭のこと。ポイントカードふくまるくんのこと等、いろいろな事業が走馬灯のように頭の中を駆け巡り、懐かしく思い出されます。現下の経済状況を見ますとお別れするのは、後ろ髪を引かれる思いです。

テルは七く八軒しかなく、今の状況を見ると隔世の感が致します。思い起こせば、夏祭りのこと。ピ

アの設立のこと。商工会報発刊のこと。温泉組合の法人化のこと。「工業基盤整備事業」「ゆめくうかん」「地ビール」の研究をし

すが、皆様の英知と努力をもって事にあたれば何事も打ち破れるものと確信をしております。最後になりましたが、商工会と企業の皆様のご発展とご健勝を、心より念願致しまして退任のご挨拶とさせていただきます。

人事の交流で七月から阿智村商工会にお世話になることになりました竹村と申します。地元

などの様変わりにより時の流れを痛感致しております。高度経済成長の時代から時代も大きく変わり、企業にとっても商工会

今から二十五年程前に阿智村商工会に勤務させていただいた事が有り

ひとつでもお役に立てればと、初心に戻ってこれからの勤務を考えております。



#### 転入 初心に戻って貢献を

経営指導員 竹村 正之

ますので、今回は二度目の勤務と言うこととなります。当時青年部員であつた同世代の方々が、今日立派な

お伺いしてご挨拶をと思っておりますが、とり敢えず紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

田畑であつた場所にバイパスが通り、ショッピングセンターが建設される

### 企業探訪

No.46

お食事・季節料理

## ぎこや

- <代表者> 大前智宏
- <創業> 平成7年5月6日
- <事業内容> 飲食業
- 営業時間 午前11時～午後2時  
午後5時～夜10時
- 定休日・毎週日曜日

今回は駒場で飲食業を営んでいます「ぎこや」の大前智宏さん(35歳)にお話を伺いました。

大前さんは、小さい頃から母が経営している店(大前食料品店)で扱っている魚を使って料理屋を持



つのが夢でした。この夢を実現するため21歳の時、東京へ修業に出掛け、7年間みっちり腕を磨きました。その後長野で1年間仕上げを行った後、



帰郷し念願の「自分の店」を持つことになる。今ではお客様に、安くて、うまい料理を提供するよう日夜頑張っています。

- ・お店の名前の由来は？  
「ぎこやとは漢字では鮓鱈屋(当て字)と書き、魚であれば何でも料理する店として親しまれるようにと付けました。」
- ・お店を始めるに至った経緯は？  
「僕が11歳の時、おやじが亡くなり、おふくろ一人に育てられ、大きくなったら、おふくろの仕入れた魚を使って料理屋をと決めていた」
- ・モットーは？  
「お客様に気軽に入ってもらい、安くて、美味しいと喜んでいただくよう頑張っています」と元気よく話してくれました。
- 皆様も是非一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

シリーズ

# 我が家の秘蔵写真

大坂屋

## 茂沢利治さん所蔵

第32回



燈籠の奉納祝いに参加した芸者達と住民（昭和3年）



「大坂屋」に居た芸者（昭和初期）

駒場の街は大正末期から昭和初期にかけて養蚕の全盛の影響を受けて、もつとも賑わった時期であった。このころ、興行の芝居、演劇、活動写真が阿智地域の人々にとつて、農閑期の慰安として親しまれた。駒劇場が建設され、多くの料亭で働く芸者は三十



昭和3年奉納した当時300円の燈籠（2基）

名程居て飯田に次ぐ盛況であった。写真を提供してくれた利治さんの祖父に当る利市さんが経営していた料理屋も大変繁盛し、昭和三年には近くにある安布知神社へ燈籠を二基（当時三百円）を奉納し、地域を上げて祝った。

# 信金だより

二十一世紀に入り、私達

を取り巻く経済環境は極めて厳しい局面を迎えています。そんな厳しい時こそ、地域から信頼される、地域密着金融機関としての使命、維持、向上を図っていくことを考えます。そういった中で日頃から皆々様の多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、夏といえはしんきんアップルポイント期日指定定期預金です。

### ・お取扱期間

六月三日～八月三十日

### ・プレミアム金利

お預け入れすべての皆さまにお取引に応じた段階的な上乘せ金利を提供いたします。

店頭表示金利に対し、  
○・○三〇・一%プラス  
となります。

大切なご預金は、是非しんきんへ。詳しくは窓口、営業係におたずね下さい。アップルポイントによる各種サービス内容も充実させています。今後ともしんきんをよろしく願います。

### 組織改革と事業の充実を

青年部の通常総会は四月二十三日、本人出席十五名のもと盛大に開催できました。本年度は新たに二名が加入していただき、部員二十名、準部員七名となりました。

総会では平成十三年度の事業報告及び収支決算報告、平成十四年度の事業計画案及び予算案が承認されました。予算案では、昨年の活動推進費削減に続き、

本年度は本会助成の対策費も二十%減と益々緊縮される方向にある中、青年部としては部費の値上げとお祭り等のバザーによる収益目標を高く設定することで補っていくことになりました。

また、「平成十五年度からの執行部体制の変更」について議案が提出されました。これは、本年度より正副部長の下に「補佐」を二名設定し、続く十五年度からは「常任委

副部長 田原健一

員」を設定してより積極的な執行部体制にしていこうと言うものです。補佐を設置する目的は①部員の意識高揚②後継役員の育成③正副部長をサポートする、ということですが、但し任期は一年間とし、一般部員の皆さんに気軽に引き受けて頂けるようにしました。また、各事業の担当と監事・補佐を兼ねた「常任委員」(任期2年)を四名設置することを決め、新たな青年部体制づくりに取り組むことになりました。

総会後に行った『歓送迎会・懇親会』では、今回の総会を以って準部員を卒業された荒井昇さんに感謝状が贈られました。また、部員としては定年を迎えられた下原勤前部長、渋谷秀文前副部長にも、引き続き準部員としてご協力頂きますが、同様に感謝状を贈りました。

通常総会が五月二十三日に開かれ、その中でも、中小企業を取り巻く経済環境は依然深刻な状況が続いているとの話がありました。私達の周りにも景気が良いという話は聞かれませんが、少しずつは良くなっているようですが、我々の所にも少しでも良い話が聞ける事を望んでいます。会報「あち」も年三回の発行を行っていますが、本年度予算は昨年と同額になりました。

### 編集後記

### 街角商工クリニックス実施に向けて

平成十四年度の通常総会及び講習会が、四月二十四日、竣工したばかりの伍和高齢者いきがいセンターで開催されました。商売には、身も心も健康管理が大切と言うことで、

### 女性部だより

阿智村体育指導員の勝野昭子さんをお願いして、会場いっぱい部員と共に、とてもさわやかな汗を流すことが出来ました。先生の指導も格別で若さ溢れる魅力に参加者全員が輝いて帰宅。満足した講習会と総会で本年度も前進致しました。

県女性連通常総会、リーダー研修会も昨年と同じ諏訪RAKO華乃井ホテルで開催

され「二十一世紀の地域おこしは女性がリーダー」と題し講師に株式会社マグネツトインターナショナル代表取締役、久保田桂子氏よりお話を聞きました。

県の主張発表大会の代表に東信白田町商工会の佐々木悦子さんの「ねじりパンの輪」が最優秀賞に選ばれ、関東大会へコマを進めました。

県女性連・商工会女性部事業について会長の小野ふじ子氏他よりそれぞれの立場からのお話があり、有意義な総会と研修会でした。

本年「街角クリニックス」という言葉が出て来ましたが、今までに、私達女性部員も便

### 部長 橋本貞子

利大学でゆかたの着付け、アレンジ花、寿し作り等実施して来ました。この様な内容を広域的に実施し地域住民の生活に提案して行くことが目的です。初めての試みですが、阿智村の特産品開発のため、他のイベント会場へ一人でも多くの方が参加し、気づいた事を声に出して下さる様お願い致します。

単会でも今年度はじめてのボランティア活動も実施します。研修旅行も計画し神戸方面に参加者を募っております。これまでの十年、これからの十年、心のゆとりの時代がやって来ます。こんなこと。あんなこと。そんなこと。を



健康体操で、さわやかな汗を流す部員

街角商工クリニックスに取り入れて女性部の事業を実施して行きますのでご協力ご参加をお願い致します。

先月の会報編集委員会ではいろいろと話し合いを行ない、ページ数・配布方法・発行部数など色々見直し、本年度も昨年同様に年三回の発行を行うことになりました。この景気低迷の中、商工業者に元気を出してほしいと、中学生が各お店に七月中旬、ベコニアの花を飾ってくれる事になりました。今から楽しみにしています。次回の会報は十二月発行の予定です。情報の提供をお待ちしています。

会報編集副委員長 田中 登